

# 水防訓練の充実

新宿区

○新宿区内消防署と合同水防訓練を実施



# 水害ハザードマップ作成、改良と周知

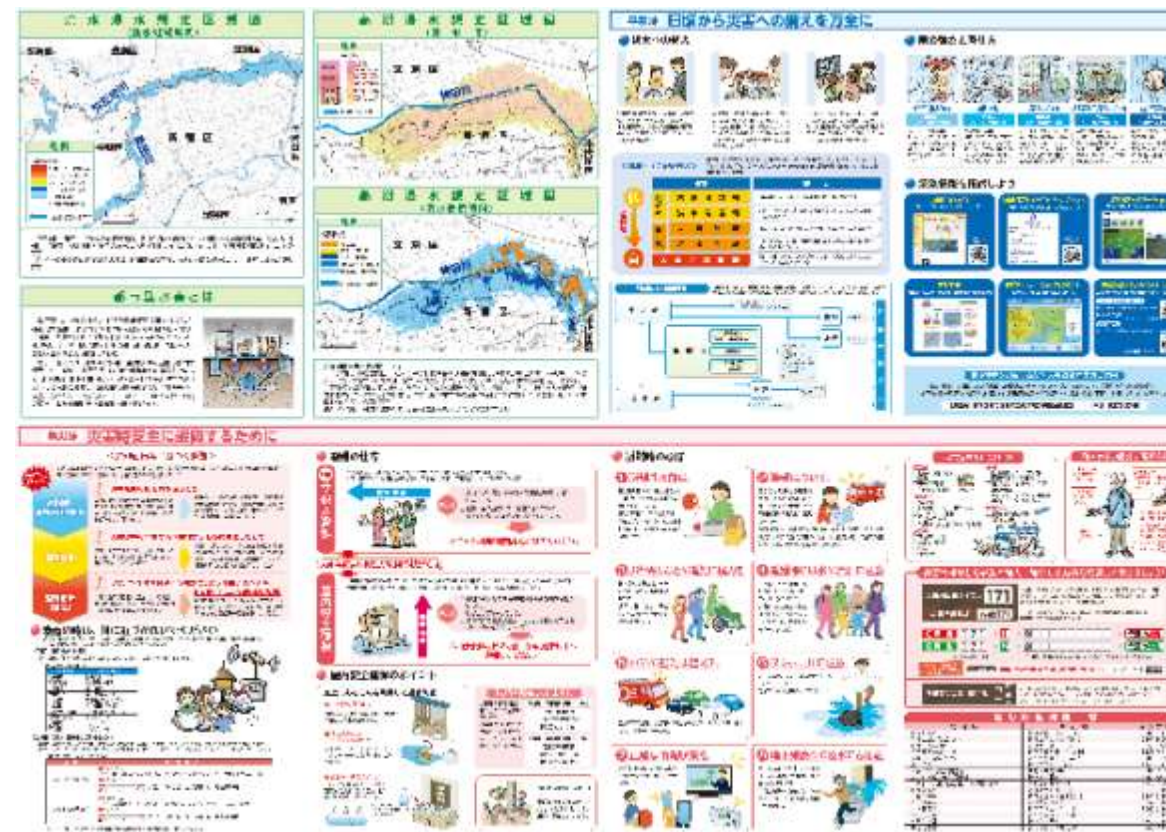
新宿区

○外力を想定最大規模降雨とした洪水ハザードマップを作成

## 洪水ハザードマップ添付



表面



裏面

## ○更新のポイント

- 1 東京都が平成30年3月に公表した「神田川流域浸水予想区域図(改定)」及び「荒川水系神田川、善福寺川、妙正寺川洪水浸水想定区域図」並びに「高潮浸水想定区域図」の反映
- 2 平成30年7月豪雨を踏まえた災害学習情報の充実

# 水害ハザードマップ作成、改良と周知

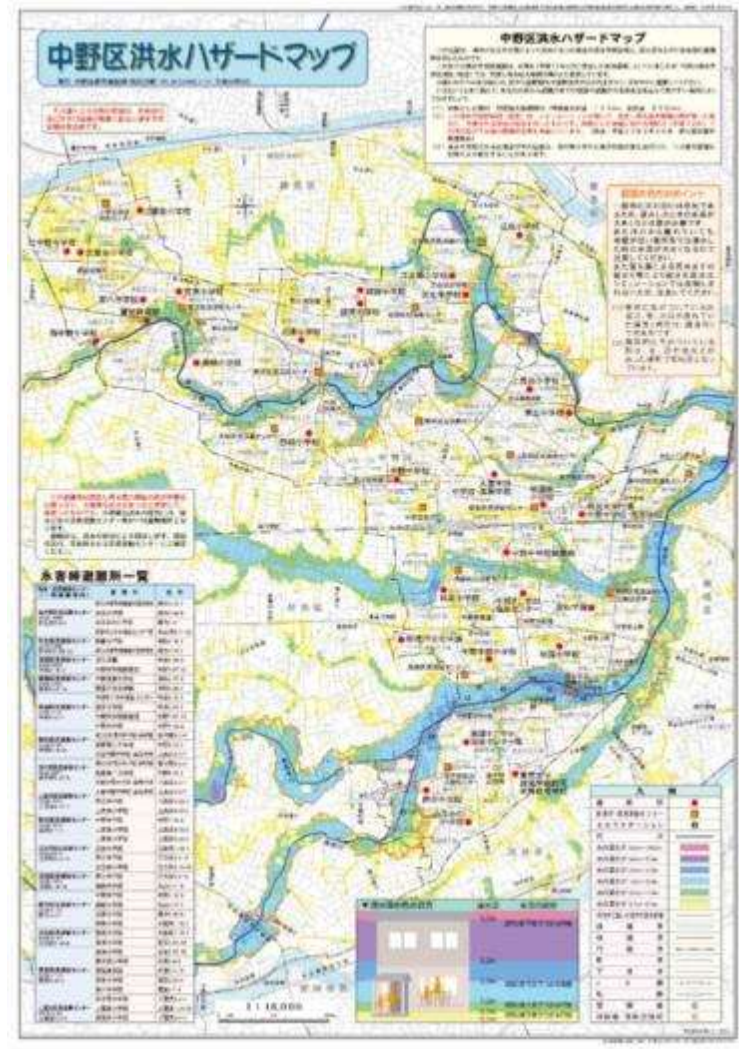
中野区

○外力を想定最大規模降雨とした洪水ハザードマップを作成

## 洪水ハザードマップ添付

This block contains several informational materials:

- 避難情報について** (About Evacuation Information): A brochure explaining evacuation procedures and the types of information received.
- 浸水継続時間 想定区域図** (Flood Continuation Time Assumed Area Map): A map showing areas where flooding is expected to last for 1, 2, or 3 hours or more.
- 避難の仕方** (How to Evacuate): A brochure detailing evacuation routes and procedures.
- 水害への備え** (Preparation for Water Damage): A brochure listing items to prepare for water damage, such as sandbags and waterproofing.
- 浸水継続時間** (Flood Continuation Time): A detailed map with a legend explaining the symbols for different durations of flooding.



○河川が氾濫した場合の浸水区域の住民に周知するため、ハザードマップを再度配布した。

# 水防訓練の充実

杉並区

○東京消防庁第四消防方面本部及び各消防署と合同で、水防部隊の実践的運用と水防活動の習熟を図り、水防態勢の万全を期することを目的に訓練を実施した。参加者には災害時支援ボランティアや町内会・自主防災組織など地元住民も参加した。



# 西日本豪雨災害に対する災害派遣

杉並区

●西日本豪雨の被災地である岡山県総社市に災害支援のため職員を派遣した。

杉並区は、スクラム支援などの水平的支援の取組を日頃から進めている。

西日本豪雨で被災して困っている自治体を素早く的確に支援することは、基礎自治体の大切な役割であることを認識し、以前から情報交換をしていた岡山県総社市の要請を受け、災害支援の派遣を行った。支援の内容は、災対本部の支援自治体調整本部業務の他、「廃棄物処理」業務を担当しました。また杉並区の呼びかけで、スクラム支援自治体の小千谷市・名寄市も支援に参加した。



# 消防団員の募集促進

杉並区

## ●消防団の全国操法大会への出場を契機に、成果をPRL団員募集の促進に繋げた。

消防団は、地域防災の重要な担い手として活躍しているが、団員の確保が課題となっている。今年度、荻窪消防団が東京都の代表として全国操法大会に出場した。これを契機に、区ではこの成果や日頃の活動について、区広報、ホームページ、パンフレット等で広く周知するとともに、団員募集を支援・促進した。

